

「性別適合手術実施件数に関する調査」へのご協力 のお願い

2018年4月1日から日本精神神経学会の「性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン」に沿って性別適合手術を受けた方へ

研究機関名 山梨大学医学部附属病院

研究機関の長 病院長 武田正之

研究責任者 百澤 明

1. 調査の概要（調査の背景、目的）

性別に違和感を持つ方に対して、世界的に性別適合手術と呼ばれる手術が行われています。日本ではこういった治療を、認定した医療機関に限って2018年4月から公的な保険診療の対象とすることになりました。しかし、保険診療外でホルモン療法を受けた方に対しては、混合診療を認めないという原則に則って性別適合手術に保険が適用されません。そこで、今後の治療の参考にするために、保険診療で手術を受けた人とそうでない人が日本中の認定された施設にどのくらいいるのか、年齢や手術の種類などの特徴がどのようになっているのかを調べます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年4月以降、日本精神神経学会の「性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン」に沿って山梨大学医学部附属病院で性別適合手術を受けた方を対象とします。

2) 研究期間

平成30年4月から2023年3月31日まで。

3) 研究方法

カルテ（診療録）に記録された情報を使用して、治療を受けている人の数、性別、手術の種類、合併症などを調べます。

4) 使用する情報

カルテ（診療録）記録された情報を使用します。医療機関から提出される時点で匿名化（個人の識別に直接関わる個人情報を取り除くこと。）がなされます。個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び二次利用

本研究用に抽出された情報は研究終了後 1 年間、岡山大学及び山梨大学医学部附属病院内のパスワード保護されたコンピュータ内部で厳重に保存させていただきます。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します

6) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。ただし、個々の研究の結果は匿名化されているため、開示できません。この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先まで FAX またはメールにてお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023 年 3 月 31 日までに下記の連絡先まで、FAX 又はメールでご連絡ください。この場合も皆様に不利益が生じることはありません。

山梨大学医学部附属病院形成外科

特任教授 百澤 明

FAX 055-273-1174

E-mail amomosawa@yamanashi.ac.jp